

## 太田 えいじ



■太田えいじ後援会連絡先 〒700-0824 岡山市北区内山下 1-11-1 中国電力労働組合岡山統括本部内  
TEL:086-223-0352 FAX:086-221-7224

## ごあいさつ

11月定例議会で審議した令和5年度11月補正予算は、一般会計で約85億5,000万円の増額となり、財源については、国の交付金および令和4年度決算に伴う剰余金等にて対応します。主な事業としては、物価高騰の影響を受ける中小企業者のエネルギーコスト低減に資する省エネ機器の更新・設置費の補助や学校給食費の保護者負担軽減などを実施します。

11月3日に岡山城はリニューアル1周年を迎え、1年間の入場者数は47万2,215人と過去最多となりました。これは展示内容の刷新、多彩なイベントを実施したことや周辺整備によるものであります。これからも街を盛り上げ、すみよい街にしていくため、様々な政策に取り組んで参りますので、皆さんから引き続きのご支援を賜りますよう、よろしくお願い致します。

## 11月定例議会 一般質問概要

## 1. 歩道橋の整備について

Q. 地域の方より、横断歩道橋の整備について要望があり、現地を確認したところ錆びていたり穴が空いていたりしていることを確認しました。横断歩道橋の点検周期や基準があればお示しください。

A. 岡山市が管理する横断歩道橋は77橋あり、道路法に基づき、5年に1度点検を行っております。点検ではマニュアルにのっとり、塗装の劣化や鋼材の腐食等の損傷状況を調査し横断歩道橋の損傷度合いを4段階で判定しております。  
(平澤重之 都市整備局長)

Q. 点検を行った横断歩道橋について、修繕計画はどのように策定しているのでしょうか。



また、地元町内会長や通学路として使用している小学校などの地元関係者にどのように周知しているのか、お聞かせください。

A. 点検結果に基づき修繕計画を策定し、早期に修繕が必要な54橋について優先的に修繕を行っています。これまでに27橋の修繕が完了しており、今後も順次修繕を行うこととしております。また、関係箇所への周知ですが、修繕計画をホームページに掲載し、修繕時期をお示ししております。また、工事実施に当たっては、事前に地元町内会や小学校へ通行規制の相談を行っています。(平澤重之 都市整備局長)

Q. 他の自治体では、老朽化した歩道橋は撤去を進めているところがあるとお聞きします。岡山市では老朽化した歩道橋をどうしていくべきか、今後の方針があればお示しください。

A. 老朽化が著しく、利用者が少ない横断歩道橋については、地元関係者等との調整が整った場合は撤去することとしております。  
(平澤重之 都市整備局長)

## 2. 岡山市公式LINEアカウントについて

Q. 岡山市では道路や公園の損傷などについて、市民の皆様から電話などで情報提供いただいています。岡山市公式LINEアカウントに道路・公園損傷等通報機能を追加し、LINEからも情報提供いただけるようになりました。

そこで、これまでにどれくらいの件数が通報されているのでしょうか。また、対応状況についてお聞かせください。

A. 公式LINEアカウントを活用した道路、公園の損傷等の通報については、令和5年8月から運用を開始しております。11月末時点の通報数については、道路では223件、公園では30件、合計253件となっております。対応状況については、全ての通報に対して現地を確認し、道路では157件、公園では20件、合計177件と約7割の対応が完了しております。

(平澤重之 都市整備局長)

Q. 市民の方にとって有効な機能であると考えますが、機能追加についての広報はどのようにされたのでしょうか。また、広報による岡山市公式LINEアカウントの登録状況には影響があったのでしょうか。



A. 広報としましては、7月の市長定例記者会見で取り上げるとともに、市民のひろば8月号に特集ページを設け、ホームページなどでも周知を行ったところ。現在の登録者数は6万7,500人と広報を行う前の7月中旬と比べ約7,500人増加しており、一定の効果があったと考えております。

(吉田元紀 政策局長)

## 「戦国 宇喜多家を顕彰する会」を設立！

岡山市は岡山のまちづくりを始めた戦国大名の宇喜多家をテーマにした大河ドラマの誘致に向けて「戦国 宇喜多家を顕彰する会」を設立しました。

会のチーフアドバイザーには、岡山市出身の歴史学者である磯田道史さんが就任し、地域の歴史の再評価や全国への発信を目指します。

皆さんも、宇喜多家に興味を持っていただき、一緒に活動を盛り上げていただければ幸いです。



設立記念トークイベントの様子

会の名称	戦国 宇喜多家を顕彰する会 ～大河ドラマ誘致を目指して～
会の目的	岡山城リニューアルを機に、宇喜多 直家公・秀家公や妻 おふくの方・豪姫などの人物像を新たな視点で描いた大河ドラマを官民連携で誘致し、地元の誇りを醸成するとともに、先人たちの魅力を全国に向けて発信すること。
設立日	2023年11月12日
直近の活動内容	2023年11月12日：設立総会 同日：設立記念トークイベント「戦国を駆け抜けた宇喜多家に迫る」 2023年12月13日：宇喜多直家公・秀家公をはじめとする「戦国 宇喜多家」を主人公とした大河ドラマの実現に向け、日本放送協会(NHK)へ要望を行う。

宇喜多 直家：岡山城創築者。正攻法よりも権謀術数を多用したため「戦国の梟雄」とおそれられる。

宇喜多 秀家：岡山城初代城主。豊臣政権の最高機関である五大老に任じられる。近世的な城郭構想に基づき城下町の建設に着手し、岡山発展の基礎を築いた。

太田えいじホームページ  
<https://otaeiji.jp/>

